

施策番号	0802		
施策名	産学公の連携による新産業の育成・振興と新事業の創出		
概要	産学公連携の下、京都に集積する企業・大学・研究機関等の優れた技術と知的資産を生かして、付加価値の高いものづくり産業を育成・振興する。また、コンテンツ、デザイン、文化芸術など創造的都市活動の分野において、京都の有する地域資源・産業集積を生かした、新産業・新事業の創出を図る。		
担当局・部室	産業観光局・産業振興室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市新価値創造ビジョン		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					指標のウエイト
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1 コンテンツ産業推進事業及びマンガミュージアム新展開事業の件数(件)	-	-	0	6	4	150.0%	a	1.00
2 知的クラスター創成事業に係る共同研究成果による累積売上高(億円)	-	-	7.7	18.1	10	181.0%	a	1.00
3 知恵産業融合センターとの連携により創出された事例件数(件)	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
<b>客観指標総合評価</b>							<b>a</b>	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 京都では、価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。	72 13.7%	218 41.6%	176 33.6%	43 8.2%	15 2.9%	524	b
2 京都の特色を生かした産業活動が行われている。	75 13.4%	257 45.8%	163 29.1%	42 7.5%	24 4.3%	561	b
3 -							-
4 -							-
5 -							-
<b>市民生活実感調査総合評価</b>							<b>b</b>



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 当該施策においては、産学公の連携でものづくりの付加価値を高めることが重要であるため、市民の実感以上に客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・コンテンツ産業推進事業については、目標の際に想定していなかった「京都漫彩」(京都が舞台となったマンガ・アニメに登場するスポットを取り上げた冊子)等の取組を進めた結果、目標を上回る実績があり、a評価となった。また、知的クラスター創成事業に係る共同研究成果による累積売上高も、年度ごとの目標値を達成し、a評価となり、客観指標評価全体はa評価となった。 ・また、市民生活実感評価はb評価で、京都の特色を生かした産業活動やものづくりが行われていると概ね評価していただいている。 ・このため、総合評価はA評価となった。						年度	-

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	試験分析	95,041	74,664	普通	産業観光局
2	技術指導	131,062	101,497	悪い	産業観光局
3	研究業務	178,418	158,749	普通	産業観光局
4	中小企業技術者研修	98,816	94,007	普通	産業観光局
5	新技術創出・製品開発事業	111,515	160,345	かなり良い	産業観光局
6	ISO14001推進事業	15,821	-	かなり悪い	産業観光局
7	共同研究事業	10,265	10,413	普通	産業観光局
8	イノベーション創生事業	19,307	34,192	良い	産業観光局
9	「産技研釉薬」実用化開発	4,598	4,668	良い	産業観光局
10	職務発明	1,601	4,343	-	産業観光局
11	京都産学公連携機構分担金	8,397	8,397	かなり良い	産業観光局
12	コンテンツ産業の振興	33,793	32,953	かなり良い	産業観光局
13	中小企業知的財産活用強化プログラム	2,902	2,902	普通	産業観光局
14	知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)	52,596	52,596	かなり良い	産業観光局
15	京都発実用化研究開発支援事業	10,902	8,652	かなり良い	産業観光局
16	バイオシティ構想事業	71,540	96,206	かなり良い	産業観光局
17	マンガミュージアム新展開事業	0	26,922	-	産業観光局
18	知恵産業融合センター推進事業	16,594	101,498	普通	産業観光局
19	産業技術研究所整備	4,653,216	204,076	-	産業観光局
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

・引き続き、京都の有する地域資源・産業集積を生かした付加価値の高いものづくり産業を育成・振興するとともに、産学公の連携による新産業・新事業の創出を目指す。

施策名	0802	産学公の連携による新産業の育成・振興と新事業の創出
-----	------	---------------------------

指標名	コンテンツ産業推進事業及びマンガミュージアム新展開事業の件数（件）
-----	-----------------------------------

担当課	産業振興室	連絡先	222-3324
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

京都市コンテンツビジネス研究会（平成20年度～21年度）での議論を踏まえ、今後取り組むべきコンテンツ産業振興及び新産業創出に係る事業展開の取組件数

### 2 指標の意味

「クリエイター等の人材の育成と活用」, 「京都コンテンツの産業化」, 「京都コンテンツの発信力の強化」に向けた進捗よく状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：京都市コンテンツビジネス研究会で議論された取り組むべき事業の件数（クリエイター育成, 京都コンテンツの発信力の強化など）出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	0	6	6件増	4	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値	150.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	10	23年度		京都未来まちづくりプラン目標値	

### 5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が  
a : 100%以上  
b : 80%以上～100%未満  
c : 60%以上～80%未満  
d : 40%以上～60%未満  
e : 40%未満

### 6 基準説明

当該指標については、目標達成を a , 以下20%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	知的クラスター創成事業に係る共同研究成果による累積売上高（億円）
-----	----------------------------------

担当課	産業振興室	連絡先	222-3324
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

知的クラスター創成事業（※）の参画機関の共同研究成果による累積売上高  
※ナノテクノロジーを基盤核技術に、環境分野に絞り込んだ研究開発及び事業化を推進するとともに、先端部材製造企業が集積する京都の特性を生かして、「環境ナノテク部材」開発の拠点化を図り、国際的競争力のある「京都環境ナノクラスター」の形成を目指す事業

### 2 指標の意味

共同研究成果の事業化に向けた取組状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

出典：知的クラスター創成事業中核機関調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	7.7	18.1	10.4億円増	10	事業の最終目標75億円に向けた単年度ごとの目標値 平成22年度：10億円 平成23年度：20億円 平成24年度：40億円	181.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

### 5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が  
a : 80%以上  
b : 60%以上～80%未満  
c : 40%以上～60%未満  
d : 20%以上～40%未満  
e : 20%未満

### 6 基準説明

当該指標については、景気変動など、外的要因によるところが比較的高いことから、目標率の80%以上を a , 以下20%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

		23
-	-	a

施策名	0802	産学公の連携による新産業の育成・振興と新事業の創出				
指標名	知恵産業融合センターとの連携により創出された事例件数（件）					
担当課	産業技術研究所	連絡先	326-6100			
<b>1 指標の説明</b>						
知恵産業融合センターと企業等が連携し、京都の伝統産業から先端産業まで幅広い分野の技術を融合させた事例の件数						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
京都の有する地域資源を生かした新産業・新事業の創出に向けた取組状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値		
数値	-	-		数値	根拠	
					達成度	
数値					-	
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値					根拠	
					平成22年11月に知恵産業融合センターを創設。平成22年度は本格稼働に向けた準備期間であるため、評価は行わない。目標値及び評価基準の設定は平成22年度の実績を踏まえ、次年度に行う。	
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>			<b>7 評価結果</b>	
					23	
					-	
					-	
					-	